

フィールド風

(現場)からの

宮田守男

7月初旬、停滞する梅雨前線の影響による記録的な大雨は西日本を中心に河川の氾濫や土砂崩れなどの被害が拡大し、多数の人命を

失う事態となった。1つの都道府県程度の範囲で50年に1度の値を超え、さらに雨が降り続けると予想される場合に気象庁が発表する大雨特別警報も多くの地域で発令。「災害に最大限の警戒を」、「直ちに身の安全を」の情報に異常事態を強く感じさせた。激しい雨を降らせる積乱雲が1列に連なる「線状降水帯」多発でのメカニズムの専門家の解説は、今後の連続する災害を強く印象付けた。異常気象の根本的な解決を、考えなくてはと痛感する。

7月初旬「まつもと市民芸術館」で開催された「健康寿命延伸都市・松本」プロジェクトのイベントに参加する。市民の健康寿命を延ばす事を目的とした取り組みに賛同した松本信用金庫が松本市と連携した

くりくの展開では、スナップが実技で解説し、参加者に実際に運動の大切さを伝えた。また禁煙運動では、喫煙者が吸い込む主流煙より、たばこの先から出る副流煙が、主流煙よりもニコチンで2-

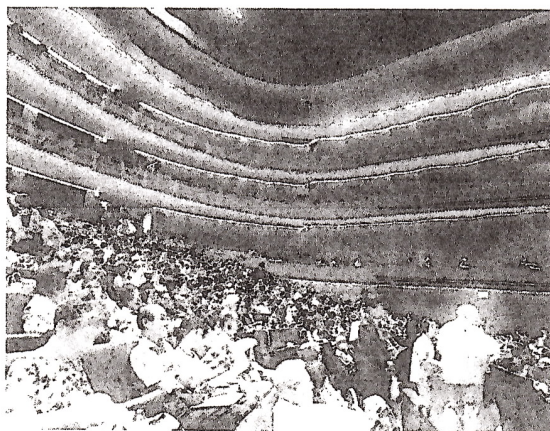
は、元NHKアナウンサーでTVキャスターとして活躍している草野仁さんの「いつもチャレンジ精神で」の講演を聴講。少年時代の運動能力が抜群だった逸話。60歳を契機に「還暦とは思えない

分かって貰うように表現するのは、いくらでも工夫の余地がある。自分の気持ちを込めた話を少しずつやって行く。続ける事。積み重ねる事。自分の想いを正確に伝える言葉を使

う事。話し言葉に魂を込めて気持ちを伝える話を実践する大切さを改めて感じた講演でもあった。
(NPO法人信州地域社会フォーラム理事・白馬村森上)

各自治体の事業への取組の本気度が、地域存続の大切な視点だ

事業だ。第一部の「健康寿命延伸都市・松本」の取組みでの担当者の、まじめで、理屈っぽさを感じる説明は、さすが「信州人」と兵感を覚えた。GO(5分)・GO(5分)・運動(スキマ時間で健康づく



開場10分前には会場を埋め尽くす参加者の熱心さは日頃からの松本市の活動からなのだろう